

韓国交流報告2件

芝忠

「第7回国際異業種交流シンポジウムin韓国」及び「第2回神奈川・京畿道異業種交流会」

9月27日から30日まで3泊4日の日程で、韓国ソウルで開催された「第7回国際異業種交流シンポジウム」と、京畿道水原市(スーオン)で開催された「第2回神奈川・京畿道異業種交流会」に参加してきました。総勢18人で、国際シンポでは日本側の参加者の46名中最大人数でした。

第一日目「第7回国際異業種交流シンポジウムin韓国」*注1

ソウルは相変わらず自動車混雑の凄さで、そのため私達も空港から1時間以上、国際シンポの会場到着が遅れました。配付された資料も韓国バージョンで殆ど内容が分かりません。これでは参加の意義が半減です。食事は台湾(昨年)のときと異なりステーキのコース料理でしたが、何も洋食を食べにきたわけでもなく、シンポの目的と周辺ソフトが噛み合わない、と感じました。企業発表も異業種交流とは関係ない内容で、シンポの見直しが必要と思いました。

*注1 国際異業種交流シンポジウムは、交流・ビジネス・各国事情把握等を目的とし、韓国—日本—台湾が毎年持ち回りで開催しており、今年は3周年目となった。日本での事務局は中小企業異業種交流財団です。

第二日目「会社見学2社」

パッケージ専門印刷会社と工具や部品の耐久性向上のためのコーティング専門の世界的な会社を見学しました。

第三日目「第2回神奈川・京畿道異業種交流会」*注2

昨年から交流を開始した京畿道の異業種交流連合会とは、2度目の大会、打ち合わせを含めると5度目の出会いなので知人も増えています。国際交流は特に出会いの回数を増やすことが重要で、今回も日本企業の紹介を頼まれたのはいずれも韓国側の知人を通してです。

京畿道シンポには予定外の道知事が挨拶、一人一人と握手して帰るなどパフォーマンスがしっかりしています。まだ40歳代かなと思われる若々しさを感じました。本年4月に就任したばかりで、11月には神奈川に来県するそうです。神奈川との交流の重要性を盛んに強調し、これからの4年間道庁職員に交流の支援を行わせる、と述べていたのが印象的です。

南出議長との挨拶があり、双方の異業種交流紹介では私が神奈川の現状紹介をしました。企業発表は日韓ビジネス協議会のメンバーの(株)三宝と(株)スリーテックにお願いしました。わかりやすいプレゼンテーションで韓国企業から積極的なアプローチがありました。

私は前日、ソウル市内の西大門刑務所の跡地歴史館を見学し、報告でも日韓交流の必要性の例に取り上げました。戦前、日本が朝鮮半島を支配していた当時、韓国独立運動家を多数捕らえ、拷問等を行っていた監獄です。歴史館は6年前に整備されたもので、私も15年間韓国を訪問していた割にはその存在を全く知りませんでした。日本共産党の志位委員長が訪問した記事を赤旗で読み、初めて知りました。日本語のボランティア説明人がいて案内してもらいました。多い日は100人も日本人観光客が来て、うち半数が修学旅行の高校生だそうです。韓国の一般客も幼稚園位から小中高校生など多数が訪れていました。周辺は広い公園になっていて、弁当を広げている人達も大勢いました。刑務所の建物の配置が網走刑務所と似ていると思いましたら、設計が同じだそうです。

当時は日本国内でも戦争に反対する人達は多数弾圧されました。そのことを私は話し、日韓交流も新たな視点で進めるようお願いします。

*注2 神奈川異グ連は昨年より、韓国京畿道異業種交流連合会と交流を始めています。

第四日目「利川・陶磁器の里見学」

水原市郊外の華城(世界遺産、復元された行宮がドラマ「チャングムの誓い」の舞台のひとつとなった)や、利川の青磁の窯元の見学など韓国訪問が初めてという方にとっても有意義な日程だったと思います。

来年は国際シンポも日本開催の番ですが、京畿道との交流会はそれに関係なく、双方の都合の良い時期に開催したいと思います。今回、韓国側は、お盆の季節の直前だったことと、日本側も9月末で決算期ということもあり、必ずしも適切な時期とは言えませんでした。

先月第48号で「県立川崎図書館の新しい試み」を紹介しました。

文中で「武蔵小杉の婦人会館を建て替え川崎市中央図書館を設け、『県の川崎図書館機能を移設』する構想がある」と書きましたが、『ビジネス図書館機能を整備』に訂正いたします。

芝

了

産学官交流サロンのコーナー

第16回川崎サロンを開催しました

10月17日(火) かながわサイエンスパークKSP西棟7階703会議室で、テーマ：<旭光通信システム(株) 加藤哲也氏による「鉄道内通信システムの開発(仮称)」> でお話しいただきました。

連絡問合せ:045-633-5142 芝、渡部

なお次回第17回は11月16日(火)ですので、ご期待ください。

第17回横浜サロンを開催しました

去る9月21日(木)関内ハリオスビル2F会議室で、“市民メディア全国交流集会”実行委員長 桜美林大学教授・和田昌樹氏にメディアを利用した地域コミュニティ「ポートサイドステーション」のテーマで、その実例を紹介いただきました。

連絡問合せ:045-633-5142 芝、池谷、杉本

第5回西湘サロンのご案内

日時:11月13日(月)18:00~20:00 場所:あいおい損保小田原支社(瀬戸ビル)3F会議室

テーマ:「丹沢の地酒とわが社の経営」 中澤酒造株式会社・代表取締役 鍵和田金吾氏

会費:1,000円(ビールとおつまみ付き) 連絡申込:045-633-5142 異グ連事務局(芝、島津俊之、吉池)

第16回横須賀サロンを開催しました

八幡敬和理事

横須賀サロン(正式名:三浦半島経済人サロン)は、去る9月20日(水)神奈川県新聞社横須賀支社5F会議室にて開催されました。地域再生法に基づいて設定され、地域再生計画および農水省認定の三浦市バイオマスタウン構想を実現する目的をもった「三浦地域資源ユース株式会社」の常務取締役 吉田 茂氏、総務部長 千葉 智氏から内容の紹介があり、出席者全員で地域活性化について熱い議論を行いました。 連絡・問合せ:八幡045-633-5142, 鶴野046-836-6785

「三浦地域資源ユース株式会社」とは、今年7月に設立されたばかりですが、認定地域再生計画実現のために設立された全国初の企業です。即ち、地域再生法に則り地域再生計画を認定された6次経済の構築による三浦スタイル展開のプロジェクトと三浦市バイオマスタウン構想の実現を目的に設立され、三浦再生の牽引力として期待されています。

おなじみ尾上町サロン

(通称ワンコインバー)

地道に続いていますよ!
連絡は特にいりません。プラッと出てください!

日時:(毎月第一・三金曜日)

10月20日、11月17日

(11月第一週はお休みです)

17:30~19:30

場所:異グ連事務局

神奈川中小企業センター5F

会費:ワンコイン(500円)

問合せ:芝、八幡、島津龍、鈴木

知事と語ろう!

無料!

神奈川ふれあいミーティング

テーマ:元気な神奈川 豊なくらし

～地域から考える神奈川の産業～

『未来を開く川崎のものづくりと地域経済の活性化』

講演:県の産業振興策の説明 神奈川県知事・松沢成文氏

事例発表 神奈川商工会議所会頭・長澤明彦氏

J Aセラサ川崎代表幹事・小泉一郎氏

会場の皆様と知事との意見交換

日時:11月7日(火)18:30~20:30

場所:高津市民館大ホール 定員:500名

申込・問合せ:神奈川県川崎県民センター

tel 044-549-7000、インターネットホームページ

「川崎県民センター」からのお申込も可能です。

補助金、助成金、委託金セミナー

無料!

中小企業技術革新(SBIR)制度の説明会

内容:①公的資金活用企業の体験談、

②SBIR制度の説明、③最新情報、

④応募のポイント、

⑤申請書事例 等

日時:第一回 H18年10月03日(火) 済み、

第二回 H18年11月14日(火)

第三回 H19年01月23日(火)

いずれも13:30~16:30

場所:神奈川中小企業センタービル6F大研修室

講師:(社)日本技術士会神奈川県技術士会 他

問合せ・申込:(社)日本技術士会神奈川県技術士会

tel 045-210-0337 fax 045-210-0338

kcea@k06.itscom.net

助成金

平成19年度・内藤泰春科学技術振興財団助成金募集のお知らせ

千田 JASPA 社長提供

- 1、調査、研究開発助成金:独創的研究開発の助成金で200万円まで、応募締め切りは本年11月10日まで
- 2、国際交流助成金:国際研究集会の開催 or 参加費用を50万円を限度、応募締め切りは本年11月10日まで
- 3、内藤泰春記念賞:科学技術の研究開発に優れた業績を上げた企業及び技術者、研究者に対し表彰状と副賞30万円を贈呈する。応募締め切り(9月29日)ました。

候補者は原則として推薦による。

詳細は財団HP:<http://www.naito-zaidan.or.jp/index.html>

問合せ:JASPA 千田まで。千田は推薦人なので推薦を希望する場合は連絡してください。

「ザ 起業塾」第11期 10月開講のお知らせ

ISO横浜では、起業準備中の方、起業後間もない方、そして事業者の方の為の「ザ 起業塾」を主催しております。10月より第11期が開講されますのでご案内させていただきます。部分受講が出来ます、詳しくはHPをご覧ください。

10月14(土)14時-18時30分「事業計画(ビジネスプラン)はこうして作る」

「成功するまでやる」・・・インターネットビジネスの成功の秘訣をお話いたします。

10月21(土)14時-18時30分「小さな会社が大きな会社に勝つ方法」「商品創りと販売計画の立て方」

11月11(土)14時-18時30分「収支計画・資金調達計画」「自己のキャリアを見つめよう」「人事・労務計画のポイント」

11月18(土)14時-18時30分「ホームページ活用策」「小さな会社の実践マーケティング」「買い手の立場で考える」

12月2(土)14時-18時30分「人を魅了する経営」「起業家・経営者へのメッセージ」終了後には懇親会を予定しております。

【料金】●23千円 消費税込 中身が濃い！安い！とご評価いただいています。

●部分受講は、各日5千円 消費税込●3日以上部分受講の方には全部受講会員に順ずる特典が適用されます。

お問い合わせ・お申込みは、下記HPよりお願いいたします。HP：<http://www.nihonn.com/kigyoujuku.htm>

セミナー エコアクション21 認証登録取得 吉池 BC

内容：①E A 21 認証登録制度と現状

②中小企業のE A 21 システム構築

③認証取得企業の体験談

日時：10月26日(木) 13:30~16:30

場所：神奈川中小企業センタービル13F第3会議室

参加費：3,000円(資料代) 募集：20名

申込：神奈川県社会経済生産性本部

tel 045-680-1863 fax 045-680-1864

ホームページ：<http://www.kanagawapc.jp>

セミナー 中小企業会計啓発普及セミナー

内容：「中小企業の会計」の意義と必要性を再確認し、経営上の悩み、お金と価値の流れ及び新会社法関連の人材投資促進税制等を学ぶ。

日時：第一回11月08日(講師：島津龍男氏)

第二回11月16日(講師：小林 巽氏)

場所：神奈川中小企業センタービル13F第3会議室

参加費：無料 募集：各回とも35名

申込：神奈川県異業種グループ連絡会議

tel 045-633-5142 fax 045-633-5194

芝 忠、島津龍男、小林巽

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

第68回日韓ビジネス協議会

高橋導徳BC

9月27日~30日まで韓国での「国際中小企業異業種交流シンポジウム」「神奈川県一京畿道 異業種交流会」及び工場見学などの視察旅行に出掛けました。(冒頭の芝理事の報告記事を参照ください)

次回の例会は下記の内容で開催致します。

日時：10月26日(木) 15:15~17:15

懇親会 17:15~18:15

場所：神奈川中小企業センタービル・・・5階 会議室

内容

(1)日本企業紹介／「プリント基板 ネット通販について」

・・・(株)インフロー取締役 澤野裕悟氏

(2)「国際課税における最近のトピックス」／坂下国際税理士事務所

・・・税理士 坂下 利明氏、税理士 坂下 弘子氏

(3)「韓国・国際中小企業異業種交流及びシンポジウム」「神奈川県一京畿道異業種交流会」の参加報告・・・事務局 高橋導徳

(4)講演：「(財)日韓産業技術協力財団の最近の動向に関して」

・・・(財)日韓産業技術協力財団 専務理事 成田洋助氏

関心ある企業の参加を歓迎致します。

連絡申込：TEL045-311-0094 高橋 MAIL：

mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

シフト21

有村BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループで、業種・業態を問わない幅広い交流を目的として、原則第二火曜日に定例会を開催しています。

10月定例会(10月10日)は有アンデス商事山下巖氏に「ラテンアメリカの生き方と背景」でお話いただきました。長らく南米に駐在された経験、各国の特徴、今後の南米とのビジネス展開など大変参考になるものでした。11月定例会は11月14日(火)18:30~、かながわ県民センターで予定しております。

シフト21ではゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。(hda00467@nifty.com)

雑感

環境舗装材プロジェクト支援とエコピープルとしての自覚

織方BC

神奈川中小企業センターのコンソーシアム事業として「高機能環境舗装材」の二次製品化・事業化を支援していますが、それに関連して気がついた事ですが、先日(10月15日)全国主要商工会議所(神奈川では川崎、横浜)で実施した「eco検定」(環境社会検定試験)があります。全国で9千人前後が受験したとの事です。(本件は異グ連ニュース47号で、異グ連会員・栗山 豪氏が紹介しています)

これは環境問題に関して、例えば持続する環境システムの構築ISO14001、有限な資源の有効活用5つのリサ

イクル法、地球温暖化対策等の京都議定書などの法的規制や環境技術開発のみではなく、一般市民の認識を高め生活者としての行動（エコピープル）の喚起が必要であるとの発想から、東京商工会議所が中心となり始められたものです。「持続可能な社会」を目指して「もったいない」や「ゴミの分別」等の日常的な気配りから、「里地里山の維持」「ヒートアイランド対策」さらに「地球温暖化対策」へと拡大していくことが期待されています。

昨今の集中豪雨、豪雪、大型台風、竜巻、土石流等の異常気象、超常自然現象も決して環境問題と無縁ではないと考えます。自分も環境と共に生きる、環境を維持していく「エコピープル」でありたいと、改めて誓いました。

まんてんプロジェクト最近の話題

千田BC

- (1) 9月8日、東京都産業労働局から、中小企業の航空宇宙産業進出に関する第二回目のヒアリングが行なわれ、まんてんプロジェクト幹部が意見交換を行なった。この中で、東京都は次世代産業育成のため、中小企業の航空宇宙産業進出を積極的に支援することを決定し、今後具体的な施策を進める予定であるとのこと。
- (2) 異グ連が、関東学院大学から委託を受けた調査研究プロジェクトの第一回会合を9月15日に開催した。委員会の名前を「航空宇宙産業研究会」とし、委員長は横浜国大三井教授、副委員長は関東学院大学福田教授、異グ連芝事務局長、委員には、異グ連、まんてんプロジェクト、(株)JASPA、神奈川県、東京都、東京都中小企業振興公社、などから13名が就任した。今年度は、神奈川県、東京都などの中小企業に対する調査を行い、課題抽出と今後の対応策の検討を行なう。9月25日の第二回委員会にて、調査項目の概要、調査対象企業の候補を検討した。
- (3) JALがエンジンのオーバーホールや修理業務の一部を中小企業に委託したいとしており、まんてんプロジェクト参加企業が成田の(株)JALエンジンテクノロジーを訪問した。
- (4) 経済産業省の助成による「まんてんEDIプロジェクト」調査研究事業は、主要企業のヒアリングを終え、10月から「まんてんプロジェクトとして、あるべきEDIの機能調査」を開始する。
- (5) まんてん全体会合を11月15日に開催することを決定した。
- (6) JASPA株式会社の財務体質強化と営業力強化を前提とした、JASPAの新体制を検討してきたが、営業拠点および管理機能を東神奈川の(株)オービタルエンジニアリング社内に移すこととした。現在の上菅田町は測定、品質管理の現場として存続する。

第8回・国際交流支援協議会

岡田めぐみ協議会会長

国境を越えた人と人とのふれあいの場として、元気よくプロジェクトを運営していきたい！と誓った国際交流支援協議会プロジェクト発会式から、お蔭様で1年が経過いたしました。皆様のご協力の下、数々の国際交流会を行う事ができましたことを感謝申し上げます。

さて、今年も恒例のハロウィーン party を下記にて行う事となりましたので、ご案内致します。

1. 日時 10月28日(土) 18時～

2. 場所 横浜市中区真砂町4-43 木下商事ビル8階 横浜留学センター内

3. 会費 1,500円+2人分くらいのドリンク(自分+もう一人くらい)

「Trick or treat!」「お菓子をくれないと、いたずらをするヨ」仮装ありOK。仮装無しも、もちろんOKです。

jack'o lantern 作りや、ハロウィーンにちなんだ、おいしい!びっくり!?

お料理も用意させていただく予定です。差し入れも大歓迎です♪ご参加、お待ち致します。

問い合わせ・申し込み:e-mail: ycrc@ies-world.com 担当岡田めぐみ

ご参加ご希望の方は、10月25日(水)迄に上記メールアドレスまたは、FAXにて異グ連事務局内国際交流支援協議会宛 氏名、会社名、電話番号を記載して申し込み下さい。 FAX: 045-633-5194

編集室

先日、作家立松和平氏の「百霊峰巡礼」講演を聴いた。

“ヨーロッパのアルピニズムは、山を征服するという思想である。中略、ヒマラヤに未踏峰があれば、山頂に立った者はそこに国旗を立てた。誰がそこを征服したのか大きな声で主張したのである。伝統的な日本の登山はその対極にある。山は神仏と感応する道場なのだから、征服するという観念からはほど遠い。山頂に立つことが目的ではない。”と言う。

川異研の清水さん(株)クレールの社長で百名山登頂を目指している)も来ておられて、「山へ登ると、本当に霊を感じるんだよなー!」と呟いていた。私もまた山へ登りたくなった。

小野川

ご投稿を歓迎いたします。かながわ異グ連事務局 tel, 045-633-5142 fax, 045-633-5194 芝、八幡、島津(龍)、杉本

(会報編集担当) mail onogawa@hkg.odn.ne.jp 小野川、相楽